



大分市立
鴛野小学校
学校だより

鴛野小通信

令和2年
11月20日(金)
NO. 28
発行者: 板井勝博



持久走の練習が始まりました！

持久走大会に向けて持久走の練習が始まりました。学校全体でも中休みをランニングタイムと位置づけ、トラックを5分間走ることにになりました。

ぶっつけ本番では意味がありません。持久走大会を最終目標に、持久力をつけることが目的です。毎日の練習、きついでしょすががんばりましょう。

* 持久走大会は
12月8日(火)の予定です。



持久走大会コース下見で気づく秋の深まり

今年の持久走大会では一部学校外のコースを走る予定です。具体的には正門を左折し学校前の道路を公民館方向へ走ります。公民館南の敷戸橋を渡り、農道を引き返します。岩ヶ鼻橋を渡り、再び正門から運動場に入り、ゴールというコースです。

先日、コースの下見をしたところ、秋を感じる光景がたくさんありました。まずは写真をご覧ください。

一番上の写真は農道から見た運動場に立つナンキンハゼです。ハゼノキと同じように蠟(ろう)が採取できる中国原産の木ということでナンキンハゼと命名されたのだとか。真っ赤に染まった葉はハゼノキのようです。

ナンキンハゼを撮影して、しばらく歩くと敷戸



川の中に水鳥を見つけました。オシドリだったら大ニュース！と一瞬、興奮しましたが、残念ながらオシドリではなさそう。多分、カモの仲間だと思うのですが、詳しい方、教えてください。

一番下は、体育館横のほころび始めたサザンカの花つぼみです。春から秋にかけてはチャドクガの発生で要注意樹木だったサザンカ。これからは、その真紅の花々で私たちを楽しませてくれます。

研究授業の季節到来

毎年、学校にとって秋は研究授業の季節です。コロナ禍の今年も、例年よりも数は減っているものの研究授業が行われました。鴛野小学校でも10月27日には3年生で算数の研究授業、11月17日には6年2組で道徳の研究授業が行われました。どちらの学級の子どもたちも、とてもよくがんばっていましたよ。

* 写真は6年2組の研究授業。→



3年生のインタビューを受けました

道徳の授業の一環として3年生のインタビューを受けました。インタビュー場所は校長室。今日はその一問一答の中から紹介します。

問1: 校長先生の前は何をしていましたか。

答え: みなさんの担任の先生と同じように担任の先生をしていましたよ。

問2: 鴛野小学校をどんな学校にしたいですか。

答え: 行くのが楽しい学校、勉強や運動がよくできるような学校になればいいと思います。

問3: なぜ、「おしのん」を作ろうと思ったんですか。

答え: 前の学校で「ひよこたん」というゆるキャラを作ったら、みんなが喜んでくれました。鴛野小でもみんなに喜んでもらうと「おしのん」を作ったんですよ。

* こんな感じで和気あいあいとした雰囲気の中インタビューは行われました。



鴛野小学校版「3つのあいさつ運動」始めます！

昨年まで豊後大野市立千歳中学校に勤務していました。中学校長は年に何回か高校の授業参観や会議に行きます。

地元の三重総合高校にもよく行きました。廊下や階段で行き交う生徒が本当によくあいさつをしてくれたものです。

「あいさつ」「高校」という二つのワードを聞くと、私には、ある高校が思い浮かびます。大分雄城台高校です。

高校の説明会などで雄城台高校に行くたびに驚いたのは生徒のあいさつです。ご存知のように雄城台高校は高台にあります。校舎まで、かなりの傾斜の坂です。この坂を雄城坂といいます。この雄城坂を自動車で通りかかると、歩いている生徒が皆あいさつをしてくれます。中には振り向いて気をつけをし、あいさつをしてくれる生徒もいます。

かくいう私も雄城台高校卒なのですが、自分が通う頃はこのような習慣はありませんでした。疑問に思い、調べてみました。

県教育委員会のホームページによると、野球部が始めたあいさつ運動が自然と全校に広がり、現在も伝統として続いているとのこと。ですから「雄城坂」は「挨拶坂」とも呼ばれているのだそうです。

雄城台高校の見学会に行き、廊下を歩いているとあいさつについての掲示がありました。「これだ！」と思ってメモ。それが下です。

「自分から心をひらく」

せん
先の挨拶

挨拶の挨拶は「自分から」

挨拶の挨拶は「迫る」

つまり挨拶は、

「自分から心を先にひらく」

という意味があります。

この掲示を見てNHKの往年の名アナウンサー鈴木健二氏が挨拶について同じようなことを言っていたことを思い出しました。

さて、今後、鴛野小学校の子どもたちには「3つのあいさつ」をがんばってほしいと思っています。

- ・おはようございます。（おはよう）
- ・こんにちは
- ・さようなら

何のことはない、ごくごく普通のあいさつです。この3つのあいさつを時間帯に合わせて何回もします。つい数分前にあいさつした人でも、出会えばあいさつをするようにしてほしいのです。

3つのあいさつの中でポイントは「こんにちは」です。「おはようございます」「さようなら」はよく言うのですが、「こんにちは」は少しおろそかになっていました。廊下や階段ですれ違っても無言のままということが、かなりありました。子どもにとっては、朝に「おはようございます」のあいさつをしたのだから…と思うのでしょう。これからは、そのようなときは、積極的に「こんにちは」のあいさつをしてください。もちろん先生方にも進んで「こんにちは」のあいさつをしてもらいます。

雄城台高校のように、「おはようございます・こんにちは・さようなら」のあいさつが、あちらこちらから聞こえてくるような鴛野小学校になればいいと思います。

ご家庭でも、「おはよう・ただいま・おやすみ」などのあいさつを習慣付けていただければと思っております。どうぞよろしくお願いします。